

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

社訓に「世界が全体幸福」になるよう念願し努力する」を掲げ、「お客様に幸福な体験をご提供する事」を企業ミッションとする弊社では、「地球と共に」「お客様と共に」「社員と共に」「地域社会と共に」の4つの視点でSDGsの17のGOALから9つのGOALを重点的な取り組みとして掲げ、それぞれに関する17以上のKPIを設定し、誰ひとり取り残さない、持続可能な地域づくりを目指して「令和時代にふさわしいライフスタイルの提案」を行います。

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取り組み	指標
◎環境 ○社会 ◎経済	GOAL7クリーンエネルギーとGOAL13気候変動への取り組みとして県が掲げる排出CO2ゼロの達成に向け協働して取り組みます。	2030年までにCO2実質削減40%(2013年比)を目指し段階的に削減する。
○環境 ◎社会 ○経済	GOAL14海の豊かさを守るため、「くまもと海洋プラスチックごみ『ゼロ』推進」の取り組みと連携し廃棄プラスチックゼロを目指す。	2023年までに生分解材・非プラ材への転換率及びプラスチックリサイクル率を向上させる。
◎環境 ◎社会 ◎経済	GOAL12持続可能な生産消費形態を確保するため食品ロスゼロを目指します。	2023年までに食料廃棄総重量を大幅に削減する。
◎環境 ○社会 ○経済	GOAL12持続可能な生産消費形態を確保するためエシカル(環境・人権・労働・経済に配慮した)商品の充実を図ります。	2023年までにエシカル商品の拡充を図る。
◎環境 ○社会 ◎経済	GOAL5ジェンダー平等を達成するために管理職の女性の割合を増加させます。	管理職に占める女性の割合 2024年3月までに30%以上 (2019.5.1行動計画策定)
○環境 ◎社会 ○経済	GOAL8育児休業、年休取得等働き方の可視化による総労働時間の削減に取り組みます。	2023年3月までに男性の育児休暇取得毎年1人以上、女性90%維持(2018.4次世代育成支援計画)
○環境 ◎社会 ○経済	GOAL4質の高い教育をみんなに貢献するために「公益財団法人鶴友奨学会」を設立し高校・高専・大学進学者への奨学金を提供	2023年までに毎年20人程度に奨学金を提供する

<パートナーシップ>

・排出CO2ゼロ及び廃棄プラスチックゼロは、一企業の努力では限界があることから、熊本県や業界団体との連携し、制度設計や補助事業を期待して取り組んでいきます。

・SDGs関連商品の充実には取引先の協力が不可欠であり、気運の醸成を図ると共に、これらを積極的に手にしていただけるよう消費者の意識の高まりも必要と考えています。

・「SDGsに関する重点的な取り組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取り組みを記載してください。なお、取り組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取り組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGs に関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

○登録番号: 号

<SDGs に関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。